

おばま 市議会だより

No. 173

議員定数を1人減の17人に.....	P2～3
公民館が「コミュニティセンター」に.....	P4
委員会審査の主なもの.....	P5
令和3年度決算を認定.....	P6～7
市政を問う！一般質問.....	P9～12
中央要望活動・管外視察を実施.....	P14

議員定数を1人減の17人に決定

議会運営委員会では、協議を続けてきた議員定数のあり方について、これまで18人としていた議員定数を1人減らして17人とする結論を出しました。それを踏まえ、議員定数を改正する条例案が提出され、賛成多数で可決されました。

区長連合会との意見交換会

期日 7月21日(木) 場所 小浜市役所

小浜市区長連合会の役員11人に出席いただき、意見交換会を実施しました。意見交換に先立ち、議会の役割やこれまでの検討概要について、議会運営委員会から説明。意見交換では、次のとおり定数削減を求める意見が大勢を占めました。

(配付された資料を見ると)16人が適正ではないかと思うし、市民は誰もそのように理解すると思う。小浜市も他市町村の例に漏れず少子高齢化で人口がどんどん減ってきている。それに伴い、財政もどんどん厳しくなっている。議員も大変だろうが、どうか少数精鋭で頑張してほしい。

(意見交換を通して)安易な定数の削減が議会力低下につながることは分かったが、財政難の状況を考え、なるべく議会力を落とさずに定数を削減するという方法も一つの選択肢に入れてほしい。



意見交換の様子

議員の役割、仕事を再認識したが、それが市民には見えない。(市民に知らせるためには)議会報告会や議会だより以外の方法も検討してほしい。

議員定数18人を推す意見

- 市民の代表として多種多様な意見を反映するには18人が必要
- 議員を減らすことは、住民自治という市民の権利を弱らせることになる

議員定数17人を推す意見

- 人口減少を理由に定数削減を求める市民の意見を無視することはできず、1人の削減もやむを得ない
- 現に17人で議会を運営している

議員定数16人を推す意見

- 厳しい社会状況における市民感情を理解すべき
- 人口減少は歳入減少につながる。市全般を考慮し削減すべき

全議員による政策討論会

期日 8月22日(月) 場所 小浜市役所

3月30日に続き、第2回目となる政策討論会を開催。意見交換会での市民の意見も踏まえ、議員定数を18・17・16とするパターンに基づき、全議員による自由討議を実施しました。自由討議では、次のような意見が出されました。

議員定数のあり方の検討結果を答申

政策討論会の結果を踏まえ、議会運営委員会において協議を行い、委員会における合意形成に努めましたが、意見の一本化のめどが立たなかったため、最終的に委員の多数決により結論を出すこととなりました。

まず、議員定数について「削減」か「維持」かで多数決を採った結果、3対2で「削減」と決しました。次に、削減する人数は「1人」か「2人」かで多数決を採ったところ、4対1で「1人」削減と決しました。

以上により、当委員会としては「議員定数は1人削減の17人とするのが妥当である」との結論に至りました。

また、議員定数の削減によって、執行機関の監視機能や、政策立案機能が低下するようないことがあってはならず、議会および議員のさらなる資質向上の責務を再認識したところであります。なお、常任委員会の数や議員報酬については、さらに慎重な調査・検討を要するとの認識のもと、今回は中間報告としました。

9月29日、今井議会運営委員会委員長が小澤議長に検討結果報告書（中間答申）を提出しました。



小澤議長(左)に報告書を手渡す今井委員長(右)

※検討結果報告書は、市議会ホームページに掲載しています。



討論の末、定数条例改正案は10対5で



議会運営委員会の検討結果を踏まえ、議員定数を現行の18人から1人減らし17人とする条例改正案（小浜市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について）が提出されました。条例改正案の採決に当たり、各議員がそれぞれの立場で討論を行いました。

賛成討論

- ・ 市民との意見交換会、政策討論会を経て出された議会運営委員会の報告を重く受け止めてほしい

反対討論

- ・ 多種多様な人が議員になり、誰一人取り残さない、市民の声を届ける議会に
- ・ 定数削減よりも市民が求める議会改革の推進が必要
- ・ 議員の資質を向上し、議会力の維持・強化を

採決の結果、賛成10票、反対5票で可決されました。（各議員の賛否は8ページをご覧ください。）
次回以降の選挙から、議員定数は17人となります。

令和5年4月から公民館が「コミュニティセンター」に

小浜市コミュニティセンターの設置および管理に関する条例の制定について 他4議案

9月定例会の審査では、各地区の公民館をコミュニティセンター化するに当たって、必要な条例の整備に係る議案の審査をしました。コミュニティセンターに円滑に移行できるのか、不利益は生じないのかなど、幅広い視点から慎重に審査しました。主な質疑の内容など、審査の概要を報告します。

●「コミュニティセンター」ってなに？

公民館

社会教育施設として社会教育・生涯学習を提供する役割を担います。法律によって、できる活動に制限があります。

コミュニティセンター

現行の公民館の機能に加え、まちづくりの地域拠点機能などを備えた施設です。

つまり!!

これまで以上に、幅広い使い方ができる、使いやすい施設に変わります。

●これらの議案により整備された条例

- ・小浜市公民館設置条例
- ・若狭ふれあいセンターの設置および管理に関する条例
- ・小浜市交流ターミナルセンターの設置および管理に関する条例
- ・小浜市農山村研修施設設置条例
- ・小浜市久須夜交流センターの設置および管理に関する条例

廃止

制定

小浜市コミュニティセンターの設置および管理に関する条例

主な質疑

問 コミュニティセンター化しても、これまで実施してきた各館独自の活動を実施することは可能か。

答 コミュニティセンターにおいても従来の活動については全て実施できる。

問 センター使用許可の判断手順は。

答 新規団体から申請があった場合、センターで使用する目的・参加者・他自治体での活動実績などを聞き取り、問題なければ受け付ける。センターで判断ができない場合は未来創造課に相談することとし、強引な勧誘や靈感商法などへの対応については消費生活担当部署と協議しながら必要なフォローを実施する。

委員会審査の主なもの

予算決算常任委員会（9月補正予算）

JRバス若江線の利用促進を

公共交通機関利用促進事業

27万2000円

説明 若江線は、今後も必要な路線バスであることから、若江線の利用促進となる助成を実施し、市民のバス利用回復を図るもの。

問 若江線の新規利用者掘り起こしに向けた取組みは。

答 地元企業の従業員などがビジネス等で京阪神方面へ出かける際に当バス路線を利用してもらえよう、企業や商工会議所などへPRしていく。

マイナンバーカードの取得促進を

マイナンバーカード取得促進キャンペーン事業

675万2000円

説明 10月と11月をカード普及促進月間と位置づけ、期間中に申請した人に「おぼまちチケット」など



の特典を進呈するもの。
問 15歳未満の人のマイナンバーカードの取得促進に向けた取組状況と今後の対応は。

答 申請がまだの人へは、国がQRコード付きの交付申請書を送付し、申請を促している。15歳未満の場合は親権者などによる代理申請が可能であることから、今後教育委員会等と協議し、小・中学校の児童・生徒などへの対応も検討していきたい。

御食国と鯖街道の世界観が体感できるコンテンツ造成を

歴史的町並みを生かしたまち歩き促進事業

87万6000円

説明 小浜市観光戦略（案）の方針に基づき、歴史的な町並みを活用した西組ビンゴなどのまち歩きコンテンツを整備するもの。

問 補正予算で新規事業を計上した理由と小浜西組の活用方針は。

答 来年度の北陸新幹線敦賀開業に向けて、早急に観光コンテンツを整備する必要があることに加え、新型コロナウイルス



まち歩きの人々でにぎわう濱参道(小浜白鬚～小浜酒井)

感染症対策としても、疲弊した観光産業をできるだけ早く回復させたいため、補正予算での計上となった。また、教育旅行において、体験学習とあわせて、小浜の歴史を体感できる内容を望む声があり、そういった面でも小浜西組を生かしていきたいと考えている。

総務民生常任委員会

陳情審査

「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書

説明 岸田政権では2月から9月まで看護・介護・保育などのケア労働者の処遇改善事業が実施されたが、引き上げ額が低いことや対象職種・事業が限定的であったことなどから抜本的な改善には至っていない。ケア労働者の全産業平均との格差是正、職員配置基準の抜本的見直し、確実に賃上げに結びつく制度となる

よう必要な措置を講じることについて、政府に対して意見書を提出するよう求めるもの。

意見

・大幅な賃上げはその財源の確保において施設利用者の負担増を招き、各施設の運営にも支障が出ることを懸念する。

・政府は現在、人件費財源の改善などための予算を計上しており、その状況を踏まえた上で判断すべきで、現段階での意見書提出は時期尚早である。

地方財政の充実・強化に関する意見書採択について

説明 2023年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、コロナ禍への対応も勘案し、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すため、政府に対して意見書の提出を求めるもの。
意見 本市の現状には直接該当しない事項も一部含まれてはいるが、当陳情の願意は妥当なものであり、採択すべきである。

【可決した令和4年度9月補正予算】

会計名	既決予算額	9月補正額	合計
一般会計	171億4,004万円	4億4,190万円	175億8,195万円
特別会計	73億6,238万円	194万円	73億6,433万円
企業会計	34億5,504万円	474万円	34億5,977万円
合計	279億5,746万円	4億4,858万円	284億604万円

端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります
既決予算額には7月専決処分の1,000万円の増額を含みます

令和3年度決算を認定

一般会計

歳入 198億6,345万1,849円
歳出 189億8,177万6,188円

決算審査は、市の予算が適正に目的どおりに使われているのかを審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するための重要な役割を担っています。

審査については、まず予算決算常任委員会にて行い、さらに慎重に審査するため、総務民生・産業教育それぞれの分科会において調査を行う方法を採用しています。

選挙事務経費(衆議院議員)
792万3953円

【説明】 第49回衆議院議員総選挙および第25回最高裁判所裁判官国民審査に係る選挙事務経費。

【問】 移動期日前投票バス運行業務の効果は。

【答】 令和3年10月の衆議院議員総選挙では、下根来・東勢・小屋・



移動期日前投票バス

泊・堅海の各区および若狭高校・若狭東高校を巡回し、計124人の利用があった。投票率においては、令和元年7月の参議院議員通常選挙と比較して10代では1.73倍に、中でも18歳では2.1倍となり市全体の投票率も向上したことなどから、当事業による効果を得られたものと認識している。

社会資本整備(安全安心)
3億377万1000円
うち今富8号線道路改良工事3757万円

【説明】 安全通行の確保のため、老朽化した施設を計画的に更新し、安全で安心な施設とする。

【問】 8月16日に降った40ミリ超えの大雨により、昨年度完了した工事箇所が崩落したが、工事内容や入札状況の詳細は。

【答】 当該工事箇所はもとと急勾配で崩れる可能性があったことから、下の部分の一部を緩い斜面に切り直した。上の部分は切り直しが困難であったため、ロックボルト工法で施工した。工法は、ボーリング調査などの土質試験をもとに決定した。入札については、のり面処理工事として発注し10者が応札。請負率は92.002%であった。



工事箇所を入念に視察する委員(生守)

決算審査の主なもの

小浜線利用者に助成

乗って残そう小浜線
利用促進事業
52万4580円

説明 新型コロナウイルス感染症の影響と減便による利便性低下に伴う利用者の減少を防ぐための助成事業。

問 助成の利用が低調に終わった理由は。

答 新型コロナウイルス感染症による影響を受け、小浜線を2人以上で利用する市民を対象としたJR小浜線みなみ線でお出かけ助成については、密を避けたいという意識が妨げとなりグループ等での利用が伸びなかったものと認識している。

児童がより健全に過ごせる環境づくり

放課後児童健全育成事業
6265万1874円

説明 両親の共働き等で、昼間保護者のいない家庭の小学校児童が安心・安全に過ごせる場所を提供するもの。

問 令和2年度と比較し

放課後児童クラブの利用者が増加している現状を踏まえた支援員確保への対応は。

答 支援員が不足するクラブがある場合は適宜補助員を配置し、さらに不足がある場合は担当職員が現場に出るなど柔軟に対応している。

農林水産業等の地域産品の活性化

道の駅若狭おばま農産物活用による地域循環プロジェクト
3654万100円

説明 地元農産物を活用したレストランおよび駐車場造成等の経費。

問 レストランおくださんにおける地場産品の使用状況および営業実績は。

答 市内を中心に、若狭町とおおい町など若狭地域の食材を地場産としており、食材の90%を地場産で賄っている。来店者数は、令和3年6月のオープン以来7月は約2600人、8月は約1700人と好調だったが、従業員が新型コロナ

ウイルスに感染するなどにより休業を余儀なくされた日もあり、令和3年度における1カ月の平均来店者数は約1500人とどまっていた。

安全通行の確保

社会資本整備(安全安心)

3億377万1000円
(うち阿納尻西小川線予備設計路線測量業務および阿納尻西小川線路線測量業務)
487万円

問 本業務の進捗状況は。

答 阿納尻側の予備設計は終了したが、西小川側は未実施区間がある。事業費が多額になることに非常に苦慮しているところであり、コスト削減の方法を検討している。

意見 事業費の拡大もさることながら、災害対策においても危険箇所が多数あり、今後は新幹線の整備も控えている。費用対効果を十分考えて実施してほしい。

決算審査に伴う管内視察を実施

予算決算常任委員会では、令和3年度の決算審査の一環として、市内4カ所の視察を行い、予算が適正に執行されたことを確認しました。

期日 9月27日(火)

民宿リニューアル支援事業補助金

(民宿下亟)

補助金：493万2,000円

市内の民宿施設の改修費用の一部を支援し、観光客の受け入れ環境を整備



小浜市企業振興助成金

(株)バン・ソフト・コミュニケーション)

補助金：3,000万円

事業者の育成と雇用機会の拡大を図るため、市内で工場を新設した企業を支援



公民館耐震化事業

(国富公民館)

工事費：3,891万9,100円

公民館の耐震補強工事を実施



社会資本整備(安全安心)

(今富8号線)

工事費：3,757万円

(6ページに関連記事)

令和4年第3回定例会の採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について	条例	小浜市交流ターミナルセンターの設置および管理に関する条例の廃止について ◆
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について		小浜市農山村研修施設設置条例の廃止について ◆
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)		小浜市久須夜交流センターの設置および管理に関する条例の廃止について ◆
予算	専決処分につき承認を求めることについて(令和4年度小浜市一般会計補正予算(第3号))	陳情	地方財政の充実・強化に関する意見書採択について ◆
	令和4年度小浜市一般会計補正予算(第4号) ◆	意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書 ◆
	令和4年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) ◆	認定	令和3年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について ■
	令和4年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ◆		令和3年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について ■
	令和4年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ◆		令和3年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について ■
	令和4年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) ◆		令和3年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について ■
	令和4年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号) ◆		令和3年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について ■
	令和4年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号) ◆		令和3年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について ■
	令和4年度小浜市下水道事業会計補正予算(第1号) ◆		令和3年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について ■
	令和4年度小浜市一般会計補正予算(第5号) ◆		令和3年度小浜市水道事業会計決算の認定について ■
令和4年度小浜市一般会計補正予算(第6号) ■	令和3年度小浜市下水道事業会計決算の認定について ■		
条例	小浜市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について ◆		人事
	小浜市コミュニティセンターの設置および管理に関する条例の制定について ◆	公平委員会委員の選任について(小畑 清美氏) <small>おばた きよみ</small>	
	若狭ふれあいセンターの設置および管理に関する条例の廃止について ◆	教育委員会教育長の任命について(窪田 光宏氏) <small>くぼた みつひろ</small>	

◆牧岡 輝雄議員は欠席
■竹本 雅之議員は欠席

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 棄=棄権(採決時に退席)
徐=除斥(規程により採決に加われない)

項目	件名	採決結果	杉本	東野	川代	坂上	熊谷	竹本	牧岡	藤田	小澤	今井	能登	下中	垣本	藤田	風呂	富永	池尾	賛成	反対
			和範	浩和	雅和	和代	久恵	雅之	輝雄	靖人	長純	伸治	恵子	雅之	正直	善平	繁昭	芳夫	正彦		
陳情	「すべてのケア労働者の大幅賃上げを求める意見書」の採択を求める陳情書	否	×	×	×	○	×	×	欠	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	2	13
市会案	小浜市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	多	×	×	○	×	×	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	5

小澤長純議員は議長のため採決には加わっていません

今号の表紙

「小沢寺の不動明王の滝(大谷)」

8歳から13歳までを小浜で過ごした杉田玄白は当時病弱だったため、父の祈願した不動明王の滝水で養生したと言われています。(写真は2022年9月に撮影)

あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか?? 小浜市議会だよりの表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だよりの表紙は、小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
 2. 画像データは1作品2~3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2~3MB程度でお願いします。

【応募方法】

・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス: gikai@city.obama.lg.jp

・作品名には①題名②撮影場所③撮影年月日④住所⑤氏名⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会にて選考の上、掲載させていただきます。都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

市政を問う！一般質問

令和4年第3回(9月)小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1. 財務諸表について 2. 老朽化する公共施設について	杉本 和範	1. 高齢者やデジタル弱者へのDXの取組み 2. 育休取得中の保育について 3. 都市公園の指定管理と地域コミュニティ
坂上 和代	1. 「公契約条例」について 2. 安倍元首相の「国葬」について(取下げ)	下中 雅之	1. 民生委員・児童委員等の職務や選任について 2. JR小浜線について 3. 北陸新幹線早期全線開業の取組みについて
藤田 靖人	1. 小浜市の基金活用について 2. 文化財の利活用について	東野 浩和	1. 住民投票制度について 2. 探究学習と地域課題について
牧岡 輝雄	1. 令和4年度重要要望について 2. コロナ禍における事業者への支援	熊谷 久恵	1. より市民の声が届く市政(計画)にするには 2. 大きなスポーツ大会は魅力発信のチャンス 3. 上方落語協会との協定をどう生かすか
川代 雅和	1. 魚介類の養殖振興について		
能登 恵子	1. 小浜駅の安全・利便性の確保を 2. 中学校も「性差ない制服」の議論を		



風呂 繁昭

問 「普通交付税」を含めた歳入が全体的に増えたことで結果として貯金である「財政調整基金」も増えており財政の健全化の方向に向かっているようだが「經常収支比率」はどうだったのか。又、今後の財政運営を伺う。

答 令和3年度決算での「經常収支比率」は91.4%で前年度から3.8ポイント改善し約10年ぶりに95%を下回ることができた。今後の財政運営についてはこれまで借り入れた起債の元金償還の増や広域一般廃棄物処理施設や広域斎場整備など大型事業にかかる負担金が増加するなど今後は一層厳しい財政状況になると見込まれる。

施設の老朽化は待ったなしで進行する

問 施設の老朽化は待ったなしで進行している。老朽化する公共施設の現状と管理体制(運用・保守・管理・統合・廃止)やマネジメント計画を伺う。

答 小・中学校、市営住宅、公民館など186施設あり、昭和30年代後半から昭和50年代に建築が集中しており、半数以上が30年を経過している。現状評価等、政策的評価を行い「現状維持」「改修・建替え」「存続」について検討の3つの基本方針等の基、個別施設計画を進めていく。

意見 自然災害はいつ起こるかかわらず小浜市においても平成25年、平成29年には大きな台風被害を受けている。その時には実質単年度収支は赤字となっているので財政調整基金の一定の積み立ては必要不可欠である。将来世代への負担の軽減を図って健全化の行財政運営をお願いする。



坂上 和代

問 公契約条例について質問する背景は、国策としてなされてきた構造改革、民営化(例えば国鉄の分割民営化や郵政の民営化)が国民にとって有益であったのかを問い直し「公共」の役割を今こそ発揮するべきと思う。そこで、市が発注する公共工事や業務委託事業を、「公契約条例」に基づいて行っている自治体があり、日本弁護士連合会も制定を求めている「公契約条例」の概要、趣旨を伺う。

答 公契約は競争入札で受注者選定を行うので、契約額の低下を伴い、労働者の賃金低下を招くなど労働条件の悪化が指摘されている。そこで、公契約の適正な締結や履行、労働者への一定基準以上の賃

「公契約条例」の制定を問う

問 全国、県内での制定状況と本市での検討を伺う。

答 全国では「賃金条項型」27市区、理念型が8県と42市区町。県内ではない。全国や県内の制定状況を注視していく。

意見 この条例を実施している自治体では、元請け業者の責任で末端の労働者の賃金まで確保するために、重層下請を避ける必要が生まれる等の効果がある。

※ 発言通告の件名2
安倍元首相の「国葬について」を取り下げる。通告書提出の時点では、「甲意の強制はしない」という決定は出ていなかったが、その後、「甲意の表明を求めない」という決定が出たため。



ふじた やすひと
藤田 靖人

問 教育関係の基金では使用目的を見直し、統合したほうが使い勝手が良いのでは。

答 教育に関する4つの基金は、教材や施設整備等のために運用してきたが、今年度末で目的を達成する基金もあり、検討、見直しを進め学校教育のさらなる充実を図る。

問 北陸新幹線の新駅周辺整備に対応する基金創設についての考えを伺う。

答 新駅周辺整備での相当な財政需要に備え、安定的な財政運営による整備を進めるには、特定目的基金を設置することも有効な手段と考えている。現時点では詳細な駅位置の公表がされておらず、今後新幹線整備計画等の全体把握ができた後、財

基金の活用と文化財活用について

政状況を踏まえ基金設置の必要性も検討したい。

問 航空レーザ測量の赤色立体図による調査の有効性と実施の検討について伺う。

答 広大な規模の後瀬山城跡においては赤色立体図作成で新たな発見が期待できる。今後の整備では、遊歩道の設計や、模型・展示パネル製作に有効な手段となるため、実施については国に支援を求めながら、前向きに検討を進めたい。

問 ウィズコロナに対応した文化財の利活用について伺う。

答 本市の観光資源を生かすため(株)まちづくり小浜と連携し、ウィズコロナに対応した日本遺産や鯖街道の魅力を感じるサイクリングやトレッキングなどの旅行商品の造成にも取り組んでおり、SNSや映像による上質な情報発信を行い、観光客の誘致を強化していく。

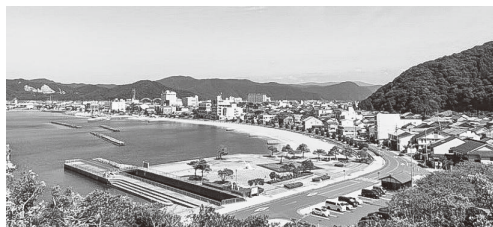


まきおか てるお
牧岡 輝雄

問 嶺南連携による取り組みの「ナショナルサイクルルート」コース内にある翼のテラスの案内看板が色あせており、歩道タイルについては、破損や浮きによる段差、欠損がある。また、展望台へ上がる入口の道路環境が悪く、長年放置されているが、落石等の対応について伺う。

答 案内看板は嶺南振興局で改修に向けて準備中であり、歩道のタイルは、小浜土木事務所が「ナショナルサイクルルート」認定の令和7年度までに状況がひどい箇所から修繕していくと聞いている。市が管理する星の広場展望台へ通じる道路は、小規模な落石についてはその都度補修対応を行い、大規模な落石が

ナショナルサイクルルート認定に向けて



小浜公園からサイクルルートを望む

あった場合には、国の補助を活用し復旧を行うこととしている。当該道路は、自動車での通行は想定していないが、星の広場の展望台は眺望がよく、今後、ナショナルサイクルルート認定により道路利用者の増加が想定されることから、だれもが利用しやすい道路環境を整える必要があると考える。今後、「小浜まちづくり協議会」など、地元の関係団体の意見を聞き、星の広場展望台へ通じる道路のあり方について考えていきたい。



かわしろ まさかず
川代 雅和

問 「小浜よっぱらいサバ」養殖事業が今後安定して継続するため販売戦略等取組みについて。

答 サバ養殖に関しては、種苗確保や小浜の海環境に適応した育成方法など技術的な問題もあるが、小浜よっぱらいサバというブランドの知名度や評価は着実に向上している。

北陸新幹線敦賀開業に向けた取組みとして、小浜に來なければ食べることができないブランド魚としてPRすることも効果的と考え、本年7月から若狭またはふくいサーモン・八百姫ひらめ等小浜のブランド魚を活用した加工品の商品開発にも取り組んでいる。

今後は、飲食店等のニーズに応えるため、

魚介類等の養殖振興について

サバの品質を安定させる生産体制が必要であり、市としても、引き続き小浜よっぱらいサバのブランド力を向上させるため様々な取組みを支援するとともに、安定生産・出荷に向け解決すべき課題についても、関係機関と連携し対応していかねばならないと考えている。

問 イワガキ養殖の普及について。

答 養殖イワガキのブランド化を図りたい。ブランド化には、販売サイズや出荷時期など流通実態に応じた生産が重要であり、得られた知見等の活用と産学官の連携により、養殖技術の普及等を図りたい。

問 アカウニ養殖技術開発について。

答 アカウニ養殖は、漁業者の所得向上になりうることから養殖技術開発については、産学官と連携した取組みを検討したい。

一般質問



能登 恵子

問 「小浜駅の安全・利便性の確保を」について

今年の3月、小浜駅では人による券売がなくなり、みどりの券売機プラスというICカード技術による機械化へ移行した。若い人たちには利用しやすくても、まだまだ不便に思う方も多く、困った声も聞く。無人化や廃線の声も聞ける中、利用者の利便性を保持するための対策を求める。

答 去る8月2日に、副市長がJR西日本金沢支社を訪問し、駅員が利用者に寄り添った対応を行うよう改善を求めた。市は、高齢者や障がい者をはじめとする市民の声を聴きながらサービス向上に向け小浜駅と情報共有を図る。

小浜駅のみどりの券売機プラスについて

問 中学生も「性差ない制服」の議論をについて

県内の高校では、スラックスかスカートを選択し「ジェンダーレス」への理解が広がっている。ブラック校則問題で文部科学省も「生徒指導提要（教員向け手引書）」の改定をし「子どもの権利条約」を明記して性的少数者への理解を深めることを重点とした。次世代の意識改革のため「性差ない制服」の議論から始めてもらいたい。

答 家庭科で家族の役割について、社会科では人権尊重について学習するなど、各教科の特質に応じた多様な社会で他者と共生するために必要な資質・能力を学んでいる。校則は「守るべき約束」と受け止め「不都合・そぐわない場合は自分たちで改正できる」という認識を持つている。



杉本 和範

問 高齢者やデジタル弱者への行政側のフォローやスマホ教室の実施が必要ではないか。

答 ふく割・おばま割の利用方法やマイナポイントの取得支援のよう丁寧な説明や支援を行っていくことは大切。現在、携帯電話会社と共催でスマートフォン教室の開催を企画しており、公民館において10月から実施する予定。



シニア向けスマホ教室必要。育休促進へ

問 近年育休取得が進んでいる。育休中の保育への市の姿勢は。

答 すでに保育園に入園している子がいる場合、保護者が育児休業を取得すると保育に欠ける状態でなくなるため原則的には一旦退園し、育児休業終了後再度入園する扱いとなる。



しかし厚労省の留意事項等において、保護者の希望や保育の実情を鑑み、子どもの発達上環境の変化が好ましくない場合や保護者の健康・心身状態に配慮が必要か等確認し短時間で継続利用を可能としており、本市では保護者の事情等を確認しケースに応じて柔軟に対応している。



下中 雅之

問 社会情勢の変化により児童虐待や高齢者の家庭訪問など、民生委員・児童委員に期待される役割も多様化し、業務量も増加していると思われるが、その対応について伺う。

答 近年の社会情勢の変化に伴い、住民の福祉課題・生活課題が複雑・多様化している中で、民生委員・児童委員が地域住民に寄り添い、一番身近な相談役として果たす役割は大きいと考えている。市としては、民生委員活動とその他の生活のバランスを保ち、無理なく活動ができることが、何よりも重要な要素であると考えることから、今後とも負担軽減に努めてまいりたい。

問 本年7月に公表された国土交通省の有識

活動に取り組むモチベーションの向上を！

者検討会の提言に対するJR小浜線についての市の認識を伺う。

答 JR西日本金沢支社においても「まずは新幹線延伸効果の最大化に向け利用促進に力を入れていく」としていることから、協議に今すぐ入るものではないと認識している。今後は、JR西日本との連携協定に基づいた施策や利用促進策を引き続き強化したい。

問 北陸新幹線早期全線開業について、本市の関西地域に対する取組みの考えを伺う。

答 年末の予算編成までに関西広域連合などが主催する北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進大会や沿線都府県の北陸新幹線建設促進同盟会の大会および中央要請があるという。今後とも大会などの機会を捉え、関西地域の首長や関係者などと意見を交わしながら連携を深めてまいりたい。



ひがしの 東野 ひろかず 浩和

問 高等学校で探究学習に重点が置かれる理由は。

答 変化が激しく、先行き不透明で、将来の予測が困難な時代において、これまでの単に知識を習得する学習から、生徒が個別具体的な学習活動を通して、汎用性の高い資質能力を育んでいくことを重視している。

問 小・中学校での取り組みについては。

答 全学校での「ふるさと学習」において、地域の課題を知り、活用策や解決策を考え、アイデアを提言するという、探究的な学習に取り組んでおり、高等学校での高度な探究学習につながっていくことを目指している。

問 高等学校での取り組みについては。

探究学習を地域課題解決の突破口に！

答 地域課題の解決に向けたアイデアと行動力を活かした取り組みが行われてきた。

・鯖を使った宇宙食
・海洋プラスチックごみを活用した塗料

子ども向け高校生レス・トラン

・薬用植物「コウギク」の6次産業化など、高校生と事業者が連携した取り組みも多く行われている。

問 学校と企業の連携については。

答 職業観を養うとともに、郷土愛の醸成を図り、将来のUターン促進に結びつけることを目的とした「ふるさとしごと体験事業」を実施している。

問 今後の市の役割については。

答 探究学習は生徒自身や地域住民、事業者が地域課題を「我が事」として考える原点となる。市では今後も地域課題の解決に向けた探究学習のサポートに積極的に関わっていく。



くまがいの 熊谷 ひさえ 久恵

問 様々な計画は知らないうちに決まってしまうという市民の声を聞く。市政に関心を持ち、より市民の声が届いた市政にする為に市の各種計画策定審議時に市民の声は反映されているか。

答 審議会構成委員は有識者や議員、市民の代表、公募枠選出の市民である。現状把握や課題抽出に市民アンケートなどを参考にし、ホームページや庁舎1階意見箱の「わくわく振興アイデアボックス」一市長と描くわがまちデザイントーク「出前講座」のほか、電話やメール、対面での意見も参考にしている。

問 より計画に反映できる段階で市民の声を吸い上げられないか。

答 環境基本計画は審

より市民の声が届いた市政にするには

議会とは別に環境行政全般の意見聴取のため市民推進委員会を設置。
問 市民が考える判断材料として計画策定期や現状課題の見える化が必要では。

答 市民が市の各種計画に関心を持つことは重要であり必要な情報は積極的に発信し、意見がより多く得られるよう計画策定期を明確にする。今年度策定の「DX推進計画」でも統計データを活用できるようにオープンデータとして提供する予定。

意見 来年は公共施設個別計画の改定時期、市民活動に関する計画審議は傍聴や市民推進委員会設置の検討を。
問 スポーツ大会時に臨時売店やキッチンカー出店でおもてなしを。

答 市営体育施設の設管条例では目的外行為のため市長の許可が必要だが、大会主催者から許可申請の際には、課題や許可条件等を整理し対応したい。

12月定例会の予定

— 議会を傍聴しませんか？ —

- 11月28日(月) 本会議・予算決算常任委員会
- 12月5日(月) 産業教育常任委員会(分科会調査)
- 6日(火) 総務民生常任委員会(分科会調査)
- 13日(火) 一般質問
- 14日(水) //
- 15日(木) 予算決算常任委員会
- 19日(月) 本会議



本会議の傍聴の様子

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況などに応じて、変更が生じる場合があります

意見書を可決し、国へ提出しました

地方財政の充実・強化を求める意見書(概要)

地方財政の確立を目指すよう、以下の事項の実現を求めるものです。

- 社会保障の維持・確保、防災・減災また脱炭素化対策、地域活性化に向けた取組みやデジタル化対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それらを支える人件費も含めて、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額の確保を図ること。
- 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充を図ること。また、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取組みを十分に支える財政措置を講じること。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制の確保、感染症対応業務のみに限

定しない、より全体的な保健所体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス対応事業、また地域経済の活性化までを踏まえた、十分な財源措置を図ること。また、今後、国の施策の一環として、各種税制の廃止や変更、また減税等を検討する際は、地方の財政運営における予見性を損なわないよう、十分に地方団体等の意見を反映し、慎重に検討すること。

- デジタル・ガバメントにおける自治体業務システムの標準化に向け、地域デジタル社会推進費に相当する財源を継続して確保するなど、十分な財源を保障すること。また、デジタル化が定着するまでの過渡期において生じ得る行政需要についても、人材・財源を含めた対応を行うこと。

その他5項目

❖ 議会活動日誌 ❖

(主な活動のみ掲載しています)

7月

日	曜	行事等内容
1	金	人魚の浜海水浴場浜開き、社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式、2022年原水爆禁止国民平和大行進出発式
3	日	綱女顕彰祭
4	月	議会運営委員会
6	水	広報委員会
11	月	議会運営委員会、広報委員会
12	火	全員協議会、議会報告会連絡会
13	水	北陸新幹線早期全線開業を求める中央要望(東京都内)
15	金	総務民生常任委員会、国道161号改良整備促進期成同盟会・京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会合同総会(大津市)
21	木	地域防災・原子力安全対策特別委員会、議会運営委員会と小浜市区長連合会との議員定数および議員報酬のあり方に関する意見交換会
22	金	小浜市民生委員推薦会
26	火	福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)
27	水	議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会
28	木	嶺南市町議長会定例会
29	金	議会報告会連絡会、国道162号大手橋・西津橋改修促進期成同盟会総会、北川改修促進期成同盟会総会
30	土	地域防災・原子力安全対策特別委員会地域防災研修会

8月

日	曜	行事等内容
2	火	北陸新幹線早期全線開業特別委員会 中央要望(東京都内)、地域防災・原子力安全対策特別委員会管外視察(福島県大熊町ほか)~3日
3	水	北陸新幹線早期全線開業特別委員会 管外視察(長野県佐久市)
4	木	議会運営委員会
5	金	小浜市・おおい町総合振興協議会、県道岡田深谷線改良促進期成同盟会総会、深谷相生間道路建設促進同盟会総会
8	月	京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会による滋賀県要望(大津市)
9	火	福井県市議会議長会定期総会(福井市)
10	水	全員協議会、各派代表者会
12	金	大雨災害見舞い(南越前町)
14	日	万灯祭
17	水	福井県市議会議長会による県要望(福井市)、小浜市・若狭町総合振興協議会(若狭町)
18	木	議会運営委員会

日	曜	行事等内容
19	金	議会運営委員会、全員協議会、議会報告会連絡会
22	月	政策討論会、総務民生常任委員会
23	火	公立小浜病院組合議会
24	水	広報委員会
25	木	令和4年第3回(9月)定例会、予算決算常任委員会全体会
27	土	福井県戦没者追悼式(越前市)
29	月	若狭広域行政事務組合議会臨時会(若狭町)
30	火	総務民生常任委員会・分科会
31	水	産業教育常任委員会・分科会

9月

日	曜	行事等内容
1	木	議会運営委員会
4	日	第39回嶺南ブロックゲートボール選手権大会
5	月	北陸新幹線早期全線開業に向けた京都市会訪問(京都市)
8	木	令和4年第3回(9月)定例会(一般質問)、議会運営委員会、全員協議会、議会報告会連絡会
9	金	令和4年第3回(9月)定例会(一般質問)
12	月	予算決算常任委員会全体会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
14	水	議会運営委員会
15	木	令和4年第3回(9月)定例会、全員協議会
16	金	産業教育分科会(決算)
20	火	産業教育分科会(決算)
21	水	総務民生分科会(決算)、嶺南市町議長による北陸新幹線早期全線開業を求める中央要望(東京都内)
22	木	総務民生分科会(決算)
27	火	産業教育常任委員会、予算決算常任委員会管外視察
29	木	予算決算常任委員会全体会
30	金	議会運営委員会、全員協議会

10月

日	曜	行事等内容
1	土	赤い羽根共同募金街頭募金活動
4	火	令和4年第3回(9月)定例会、議会運営委員会、広報委員会

北陸新幹線
早期全線開業特別委員会

中央要望活動

実施日：8月2日(火)

場所：国土交通省ほか

令和5年度予算の概算要求に向けて、市と合同で国土交通副大臣、国土交通事務次官、与党幹部、高木毅衆議院議員らに北陸新幹線早期全線開業を求める要望書を手渡しました。



藤井国土交通事務次官に要望書を手渡す委員

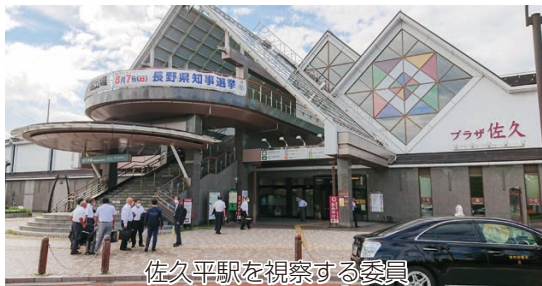
管外視察研修

実施日：8月3日(水)

視察先：長野県佐久市

北陸新幹線開業による効果に関する研修と、北陸新幹線佐久平駅の現地視察を行いました。

佐久市では新幹線開業後、大都市への交通アクセスが向上したことにより定住人口が増加したと聞きました。本市としては、京都などへの交通アクセスが飛躍的に良くなることに大きな期待を持つとともに、駅の駐車場や周辺道路など、利用しやすい環境を整備することの重要性を感じました。



佐久平駅を視察する委員

地域防災・原子力
安全対策特別委員会

管外視察研修

実施日：8月2日(火)～3日(水)

視察先：静岡県地震防災センター
：福島第一原子力発電所

静岡県地震防災センターでは、地震体験装置で南海トラフ地震で想定される揺れを体験したほか、防災意識が高い静岡県での取組みに関する講話を聞きました。特に「ふじのくにジュニア防災士」の養成など人材育成に関する取組みは本市も参考にすべき内容だと感じました。

福島第一原子力発電所では、概要説明を受けた後、発電所構内の13施設をバスで視察し、廃炉作業における使用済み燃料の取り出しや汚染水の処理などの課題について説明を受けました。東日本大震災に伴う事故から11年が経過し、事故後の困難かつ膨大な作業が残されている様子を目の当たりにし、原子力発電所の安全対策等の充実に向けた役割を果たしていく必要性を改めて認識しました。



原子炉建屋から100mに位置する高台にて



事故の惨状が残る建屋に見入る委員

編集後記

議会では、小浜市発展のため市の事業の審査や政策提言を行うほか、国の機関に対しては意見書の提出、要望活動などを行っています。

広報委員会では、議会だよりを通して、議員間でどのような議論が行われ、どのような結論に至ったのかを市民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう努めています。今後、このような議会の意思を簡潔明瞭に伝えていければと考えております。市民の皆さまにおかれましても、忌憚のないご意見をよろしくお願いたします。

(藤田)

- 広報委員長 垣本正直
- 副委員長 能登恵子
- 委員 下中雅之
- 藤田靖人
- 牧岡輝雄
- 杉本和範

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を掲載しています。

